

質疑および一般質問

12月定例会では12月14日と15日に、18人の議員が、議案に対する「質疑」や市政に関する方針や考え方などについて聞く「一般質問」を行いました。その質問項目の一部を掲載いたします。

清水 正樹

新生会

- 議第103号議案 平成21年度草津市国民健康保険事業特別会計補正予算について
 - ・国保会計の将来の見通しについて
- 平成22年度予算編成方針について
 - ・法人市民税の落ち込みと各市税の収入見込み
- 協働のまちづくり（協議会）の取り組み状況について
 - ・行政の取り組みについて

中島 一廣

草政会

- 市長の三現主義とマニフェストの自己評価について
- 組織再編の成果等について
 - ・第5次総合計画と組織、機構の見直し、他の施策との整合性について
- 執行体制の見直しと人事評価について

竹村 勇

新生会

- 予算編成の基本的な考え方について
 - ・福祉予算は削減しないことを求める
- 障害福祉について（バリアフリー化について）
- 障害者自立支援法の見直しについて
- 第2期草津市障害福祉計画について
- グループホーム等の整備について
- 障害者の声、草津市障害者福祉センターへの交通について

奥村 恭弘

市民派クラブ

- 草津市内における交通に関するインフラ整備について
 - ・南草津駅自転車自動車駐車場の駐車時間が見直された経緯について
 - ・駐車時間の見直し効果等について
 - ・南草津駅の新快速停車に向けた取り組みと南草津駅自転車自動車駐車場の動向について
 - ・草津駅前地下駐車場の今後のあり方について

中村 孝藏

新生会

- 西友跡地の現時点での取り組みについて
- 旧草津川川底の整備について
 - ・河口付近での雑草や、畑の害虫被害について
- 草津駅、南草津駅周辺をイルミネーションで明るくすることについて
 - ・暗い駅周辺を電飾でもっと明るくし、訪問者や通勤者に癒しを提供することについて
- 中心市街地活性化について

棚橋 幸男

草政会

- 地域ぐるみで子どもの教育を行う環境づくりについて
 - ・地域協働校は理念の実現に向いているか
 - ・特色ある学校づくりになるのか
- 人と自然が共生できる水辺環境の整備、保全と弁天池の整備について
- 一流アスリートとの交流の機会を継続し拡充する取り組みについて

奥村 次一

新生会

- 草津市におけるデフレ対策について
 - ・教育関連の立場からの市民に対する啓蒙について
 - ・市の経済対策について
- 市長マニフェストの透明性について
- 草津市の温暖化対策について

山本 正

市民派クラブ

- 市街化調整区域における地区計画について
 - ・人口減少時代における施策であるが、平成32年まで人口増加すると予測している本市に必要なのか
 - ・市の制度では調整区域で住宅開発を促進するようにとれるが、本来の目的は農林漁業との調和、自然保護、景観や無秩序開発の規制、未利用地の活用等ではないのか

質問と答弁の詳細については市議会ホームページか、市役所情報公開室（庁舎2階）や市立図書館に配布する3月上旬発行予定の会議録をご覧ください。

久保 秋雄

日本共産党草津市会議員団

- 雇用情勢に対する市の認識と対策について
 - ・失業給付の延長を国に要望すべき
- 事業仕分けについて
 - ・国の事業仕分けの評価と本市における仕分けの問題点について
- 国保税の値上げをしないことについて
- ごみ袋の有料化をしないことについて
- まめバスの利用状況と存続を目指すことについて

西村 隆行

公明党

- 障がい者福祉予算について
 - ・来年度以降の予算編成について
- 窓口サービス向上市民アンケート集計結果について
 - ・接遇の実態に対する市の対応について
 - ・CSモデル課、CS推進員について

中嶋 昭雄

草政会

- 事業仕分けの実施について
 - ・20事業を選定した考え方について
 - ・市民判定員に理解してもらうための工夫について
 - ・事業仕分けによる協働化について
- 平成21年度草津市駐車場事業特別会計補正予算について
 - ・利用しやすい駐車場への具体的改善策について
 - ・自動車以外の利用について

西田 剛

新生会

- 芝生化推進への取り組みについて
 - ・芝生化事業に対する認識と意識について
 - ・これからの芝生化推進ビジョンについて
- 地産地消の実現について
 - ・草津ブランドあおばなの普及拡大について
- 草津市活性化について
 - ・草津市活性化の手段とブランド確立について

瀬川 裕海

草政会

- 防犯対策について
 - ・防犯対策の現状について
 - ・青少年を取り巻く環境について
 - ・(仮)まちづくり協議会の進捗状況について
- JR南草津駅新快速停車について
 - ・実現に向けた具体的なスケジュールについて

宇野 房子

市民派クラブ

- 図書館の貸し出しサービスと運営について
 - ・図書選定はどのような方法をとっているのか
 - ・広域協定の議会議決・貸し出しサービス内容について
 - ・協定要綱の見直しと改正が必要ではないのか
- 審議会制度の透明化と更なる市民参画について
 - ・委員選出は重複を避け女性の参画高揚を
 - ・公開性への意識高揚と開催案内の方法について

西田 操子

市民派クラブ

- 特別養護老人ホームの施設整備について
 - ・公募状況と応募しやすい環境づくりについて
- 認知症対策について
 - ・区分支給限度基準額等の増額の設定について（上乘せサービス）
 - ・市の特別給付（横だしサービス）制度化について
 - ・認知症高齢者のお泊り特区の制度化について
- 高齢者虐待の実態について
 - ・虐待の事例、対応窓口、関係機関との連携について

西垣 和美

公明党

- 幼児教育の取り組みの推進について
 - ・これから目指す幼児教育のビジョンと取り組みについて
 - ・就学前教育の統一と幼保小の連携について
 - ・幼児教育における言語力育成の取り組みについて
 - ・幼稚園における適正な教員配置について
- 景観形成について
 - ・今後目指す本市の景観形成について

藤井 三恵子

日本共産党草津市会議員団

- 社会体育施設・都市公園の指定管理運営について
 - ・ 合同会社草津市スポーツ振興事業体に変更の理由
 - ・ 管理運営上の問題発生時の責任と補償について
- 草津市立図書館の整備・充実について
 - ・ 屋根の全面改修と太陽光発電の設置について
 - ・ 図書の改善と職員配置の強化について
- 障害者・児のおかれている実態と支援策について

堀 義明

無所属

- 第14回人権平和ツアー（総行程1,176キロ）に参加して
- 核廃絶実現への取り組みについて

常任委員会

12月15日の本会議で常任委員会に付託された案件の審査を12月16日から18日に3つの常任委員会で行いました。常任委員会での審査内容を、主な質問と答弁に要約して紹介します。

協働のまちづくりについて

問 地域に出向き、協働のまちづくり指針を十分に理解してもらうことが大事だと思うが、どのように考えるか。

答 各学区、地区において、特に連携をいただくべきパートナーである市民センターを中心に、積極的に地域に出向いてみなさんと膝を突き合わせて、地域の課題を共に考えていこうとしている。まちづくり指針は市の方向付けを大きく示したものであり、今後はガイドラインを作成し、個々の学区、地区に応じた取り組みの具体的な方策を、より地域と連携しながら進めていこうと考えている。

平成21年度草津市国民健康保険事業特別会計補正予算について

問 今回の補正予算の原因となった国民健康保険事業特別会計の赤字は今後も引き続き見込まれるのか。また、今後どのように対応していくつもりなのか伺う。

答 対応としては、保険財政の基盤安定のために現在行ってもらっている財政的な支援を伸ばしていただくことなどを、常に関係機関や全国組織等に要望しているところである。しかし、根本的な国民健康保険制度の改正を国において行われない限りは、国保税率の見直し(値上げ)を行うことでしか現状を改善できないと考えている。

草津駅前地下駐車場の改修工事にかかる補正予算について

問 補正予算の計上は、想定外のものや緊急性のあるもの等に限定されるべきであり、積算の誤りを訂正するためや、無尽蔵に予算額を積み上げるものではない。今回の補正予算の計上に関し、その内容と補正予算についての考え方を伺う。

答 今回の補正予算は、7,526万4千円を増額し、総額6億8,846万4千円としようとするものである。草津駅前地下駐車場から駐車機械を撤去することで、利便性の向上と経営改善を目指すものであるが、設計委託業務の入札に当たり、2回にわたり不調に終わったことで計画に遅れが生じたことや、消防関連法の施行

総務常任委員会

複合機への変更について

問 各職場のプリンタを複合機に換えたが、メリット、デメリット、ランニングコストを伺う。

答 19年度は出先機関、20年度は庁内のプリンタを複合機に交換した。メリットとして、使用料の減、無線化やファックス機の統合によるスペースの整理、同一業者による保守の効率化があるが、一方、デメリットについては、全体のコストが560万円の増となっており、課題だと考えている。今後1,600万円程のランニングコストが必要だ。22年度からは各所属で予算化を行い、コスト削減を図っていきたい。

文教厚生

常任委員会

新型インフルエンザ対策について

問 草津栗東休日急病診療所特別会計補正予算に計上されている919万4千円の補正予算の内容を伺う。

答 新型インフルエンザの流行に伴い、草津栗東休日急病診療所の患者数が急増したことにより、診察までに長時間待っていただく状況となったことから、医師・看護師各1名体制による1診制から、2診制に変更するものである。その際必要となる医師・看護師・薬剤師等の人員費が約510万円、薬剤等の消耗品費が約400万円必要となるため、増額補正を行うものである。2診制は平成22年2月末までの午前の部で実施する。

産業建設

常任委員会

により従来の泡消火液が使用不能となり、総入替が必要となったこと等により増額となったものである。しかしながら、東西駐車場を交互に閉鎖し、集中的に工事を施工することで、工事費の削減と工期の短縮を図り、当初廃止予定であった定期駐車枠も利用者の声を反映し、最大30台確保したところである。工事費の積算については、市の調査不足も否めないが、平成20年度決算においても、4,400万円余が計上された赤字の解消を早期に解消するため補正予算を計上したものであり、このことにより、平成29年度からの黒字転換を目指すものである。